

- 高齢者総合ケアセンター星の里 (久保町) TEL (0848) 37-7272
- ワークスさつき (美ノ郷町) TEL (0848) 48-5900
- むかいしま作業所 (向島町) TEL (0848) 44-6460
- 尾道福祉専門学校 (久保町) TEL (0848) 37-2222
- 尾道さつき作業所 (久山田町) TEL (0848) 23-8004
- 尾道サンホーム (木ノ庄町) TEL (0848) 48-4070
- すだちの家 (御園町) TEL (0848) 77-1122
- 尾道市障害者サポートセンターはな・はな (門田町) TEL (0848) 29-5002

水耕栽培で工賃アップを！

すだちの家 仲本 明洋



▲初めての定植作業

農業は作物を育てる喜びがあり、達成感のある仕事です。自分でお金を稼ぎ、社会の役に立っていることを理解していくことで、いきいきと仕事ができると思います。皆様の食卓にすだちの家の「安心・安全・美味しい野菜」が並びよう頑張ります。

広島県内の就労継続支援B型事業所の月額平均工賃は約14,000円弱(平成22年度実績、広島県工賃実績調査)となっています。すだちの家は開設当初からパン・クッキーの製造販売を中心に売り上げが堅調な伸びを続けてきましたが、最近では景気等に左右され仕事量が安定しません。そのため、県の利用者平均工賃に届いていない状況でした。そこで、ビニールハウスで野菜を栽培する水耕栽培事業に着目しました。天候に左右されず、多毛作が可能なら安定して継続した作業の確保が可能となります。土を耕すなどの重労働が少なく、多くの利用者さんが関わることができそうです。また、付加価値の高い野菜も栽培が可能なら、収入も安定的に見込まれます。

昨年4月頃から地元農業関係者や産業界等とも連携し、国や県からの障害者自立支援特別対策事業補助金を受け、総事業費約9400万円をかけて設備を整えました。指導者の研修を経て、今年5月から新たに水耕栽培事業をスタートしました。3年後には年間売上げ2000万円を目指します。

農業は作物を育てる喜びがあり、達成感のある仕事です。自分でお金を稼ぎ、社会の役に立っていることを理解していくことで、いきいきと仕事ができると思います。皆様の食卓にすだちの家の「安心・安全・美味しい野菜」が並びよう頑張ります。



▲広大な土地に栽培用ビニールハウスが6棟

*就労継続支援B型事業所とは：自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通じて、その他の知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行う施設です。

*水耕栽培事業とは：農作物を人工的に管理するシステムで、計画生産が可能な施設のことです。多くが、人工的に水分と養分を混ぜ合わせた養液で栽培しています。

在宅介護が手厚く 平成24年度介護保険改定

星の里居宅介護支援事業所
小猿 志保

介護保険制度は5年毎に改定が行われ、今年4月がその時期にあたります。

今回の改定のポイントは「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取り組みを進めることです。介護を必要とする高齢者や独り暮らし、認知症高齢者は今後更に増加すると想定されています。その現状に対応するには、介護保険サービスや医療保険サービスだけではなく、見守り等の生活支援や成年後見制度等の権利擁護など、様々な支援が必要になります。それぞれの支援が生活している地域の中で切れ目なく提供されることが重要で、その実現を目指すのが今回の改定です。



今回新たに創設された「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」は、介護や看護サービス職員が、在宅

で暮らす要介護者に、24時間の定期的な巡回訪問や通報による随時訪問をするものです。



また、「複合型サービス」は従来の小規模多機能型居宅介護*等と訪問看護を組み合わせ、介護と看護のサービスを提供します。これらにより要介護者は必要に応じて柔軟に、必要とする医療に対応できるサービスを、住み慣れた地域で受けられることとなります。

これまで、医療や重度の介護が必要になった場合に、在宅生活を継続することが困難になったケースも多々ありますが、今後はそのようなニーズにも応えられることが求められていきます。

*小規模多機能型居宅介護：地域に根ざした小規模の施設で、「通い」訪問「泊まり」等のサービスを同じスタッフが対応するサービスのこと。

ボランティアで地域に貢献

尾道福祉専門学校 民安 和宏



▲ボランティアで笑顔の輪

尾道福祉専門学校では、積極的にボランティア活動に取り組み、お祭りなどの行事や地域の活動に参加しています。なかでも資源ごみ回収ボランティアは、西久保地区の民生委員さんたちと連携し、毎月1回高齢者のお宅に伺い好評を得ています。

同地区は西国寺山の中腹に位置し、独り暮らしや高齢者だけの世帯が多数あります。また、住宅のほとんどが路地や坂道に面し、自宅の前まで車が入ることができません。そのため重い資源ごみを出すのは、高齢者にとってかなりの重労働です。そこで、毎月6~7人の学生が歩いて高齢者のお宅に伺い、資源ごみを回収してまわります。

学生たちは皆さんの喜びの声とともに、ボランティアの重要性を学んでいます。今後も地域とのつながりを大切に活動していきます。

寄付者一覧

(二〇一二年十二月〜二〇一三年三月、順不同、敬称略)
 (寄付金) 井上洋、廣谷毅、古川巖、崎谷亘、芦田孝子、鼻孝子、加戸春男、岡本享子、小川照代、國安道雄、藤田ヤエコ、土屋潔子、佐藤光政、佐藤広士、國定肇子、(株)ゆきひろ
 (寄付物品) 中島秀晴、須田稔、(有)こもん

編集後記

新シリーズ「福祉のしごと」はいかがでしたか。きついと言われる福祉業界ですが、利用者さんとの触れ合いや喜びも多い職業です。そんな福祉職員の一日を知っていただければと思います。
 (T.O)

尾道市内で初の「子育て支援認定事業主」に

過去3年間の仕事と家庭の両立支援の取り組みが評価され、尾道さつき会は、この度広島労働局長より尾道市初の「子育て支援認定事業主」の指定を受けました。

今後も、より働きやすく子育てしやすい職場環境づくりに努めていきます。



シリーズ **福祉のしごと** 介護福祉士編

星の里 岩井 祥
特別養護老人ホーム星の里の介護福祉士の1日は朝早くから始まります。

(6:00) 起床

「おはようございます」のあいさつから始まり、洗顔や排泄の介助を行います。

(8:00) 朝食



▲しっかり噛んで美味しく食べています

食事や服薬の介助を行います。テーブルを囲んで一緒に食事をします。食事中は誤嚥しないように姿勢や飲み込みのペースに気をつけて介助します。また食事は利用者の1日の状態を把握するためにとても重要なことなので、毎日の食水量

や水分量を記録に残します。

食後は歯磨きやうがいなどで口腔を清潔に保ちます。口腔ケアをする時に強い拒否を示すときもあり、時には手で払いのけるなどの行動も見られます。そのようなときは、間をおいて再度声かけしたり、ほかの話で気分が変わるようにしています。

(9:30) 入浴

お風呂介助の時に体を洗うことはもちろんのことですが、全身の皮膚観察を行い、傷が出来ていないか、皮膚がただれていないかを確認することも欠かせません。また皮膚が弱い方は少しすれただけで表皮剥離してしまうため、移乗や洗体、着脱の介助を行うときは細心の注意を払います。

以上のように利用者さんの1日を支援しています。

外出する機会が少ない方もいるため、少人数で月に1度外食へ行くなど、季節によって行事を計画しています。また、地域の方と協力して行事を行い、少しでも楽しんでもらえるように職員一丸となって支援しています。

利用者さんの笑顔を見ることができた時に、この仕事の魅力を感じます。

(11:00) 口腔体操

美味しくご飯を食べられるように皆さんと一緒に体操をします。

(12:00) 昼食

毎日手作りの食事を提供しており、地方の郷土料理や麺類、時にはお好み焼きなどを一緒に作り食べることもあります。

(15:00) 余暇時間

散歩やレクリエーションで体を動かします。月に1度機能訓練としておやつ作りを計画し、利用者さん数人と職員が一緒におはぎやお焼きなどを作ります。一緒に作ったおやつを美味しいと言いながら笑顔で食べている姿を見ると、計画して良かったと思います。

(18:00) 夕食

(20:00) 就寝

みなさん休まれて1日の疲れをとります。夜間は利用者の排泄介助や安否確認などを行います。



▲お花を見て心が癒されます



▲草むしりで機能維持

介護福祉士とは...昭和62年(1987)に成立した国家資格です。高齢者や障害者に、食事・入浴・排泄などの介護を行い、専門的知識をいかしてその人や介護者に対し、介護に関する指導・助言を行う介護の専門職です。

尾道さつき会では、71人(2012年3月31日現在)の介護福祉士が働いています。

新任職員紹介

財務企画部 吉本 勝成

●この仕事を選んだきっかけ・意気込みを教えてください。

前職は、機械を相手にした仕事をしていましたが、退職を機に人と接する仕事へ進もうと決めました。当時、祖母がデイサービスを利用していたことがきっかけで、この業界を知り、思い切って飛び込んでみました。きつくつらい職業という印象が強い業界ですが、自分なりに楽しく仕事をしています。早く一人前になりたいです。

●趣味、隠れた特技は?

1歳になる子供を上手に寝かしつけており、隠れた特技だと思っています。私が寝かしつけると簡単に寝てくれるので、半年前から私の役目です。おかげで仕事の帰りに趣味のゴルフの練習に行けなくなりました。



ボランティアさん募集

～花と笑顔がいっぱいに～

久保の家 藤原 元紀

久保の家には花や園芸が好きな利用者さんがたくさんいます。園芸が日課で「皆の喜ぶ顔がうれしいです」と、園芸の本を読み勉強をされている方がいます。今では地域の方が利用者さんに、「これを飾ってください」と自宅で咲いた季節の花を持って来てくださいます。それを生け花の得意な利用者さんが綺麗に生け、華やかな空間ができあがります。

これからも地域の方のお力を借りながら、利用者さんそれぞれが楽しめる時間を作っていきたいと思っています。

久保の家では、「園芸」「書道」などの趣味活動をサポートして下さるボランティアさんを募集しています。お気軽にお越しください。



▲季節の花でいっぱい

市、職場定着後押しへ 介護従事者に助成金

尾道福祉専門学校 國岡 義広

尾道市は、今年4月から市内の介護保険事業所に就職する介護福祉士とホームヘルパーを対象に助成金を支給する制度を設けました。介護老人福祉施設やヘルパーテーションなど市内の約250事業所への就職者が対象です。

介護福祉士の場合、尾道さつき会が運営する尾道福祉専門学校を卒業して就職すると助成金10万円、市外の学校卒業者には5万円が支給されます。

ホームヘルパー2級以上の資格を有した人の場合、6か月以上勤務すると2万円(一回のみの助成を受け取ることが出来ます。いずれも平成24年4月1日以降に就職した人が対象です)。



尾道さつき会はホームヘルパー養成事業を毎年実施しています。今年度も9月の開催に向けて準備を進めています。



児童分野の法改正に伴い4月1日、尾道市木ノ庄町の「児童デイサービスあいあい」は「児童発達支援センターあいあい」に移行しました。

「児童発達支援センターあいあい」は、言葉が増えにくい・動きが多い・コミュニケーションがとりにくいなどの就学前の発達支援を必要とする児童が利用する場です。

近年、発達支援を必要とする児童の数は、増加傾向にあるといわれています。子どもの成長への不安や悩み、周囲の誤解や無理解など、ご家族の心労は多岐にわたります。わが子の将来を案じ、わらにもすがる思いで病院や療育機関に相談されます。

そのようなご家族の力になりたいと、あいあいでは、自然に囲まれたのびのびとした場所、全身を使った楽しい遊びを通して、子どもたちの意欲や自信を高める療育を行っています。そして、言葉やコミュニケーション



▲お気軽にお越しください



▲みんなで滑り台



▲泥んこ池を渡ろう

相談支援事業がスタート

児童発達センターあいあい 村上 美恵子

の力を豊かに育んでいます。保護者の方には、学習会や個別の懇談を行い、子どもの成長を確認しあい、ゆったりと子どもと向き合えるよう支援しています。また、地域の保育所や幼稚園、学校に通っている子どもたちにも、発達に関するだけでなく、福祉サービスや通所支援などの利用計画を作成する相談支援事業をスタートしました。どうぞお気軽にご相談ください。



▲楽しいお散歩